

ここが問題！リニア新幹線

2018年1月6日 NO. 61 リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会 web-asao.jp/hp/linear

底知れぬリニア工事談合事件、9兆円利権まみれの闇～

沿線ネットが徹底説明と工事中止を求めて緊急声明発表

リニア中央新幹線の不正受注疑惑に対する声明

現在、東京地検特捜部によって捜査が進められているリニア中央新幹線の不正受注疑惑は、大手ゼネコンのみならず、JV(共同企業体)の受注にまで広がりを見せ始め、しかもJR東海がリニア構想を発表した2007年頃にすでに四社間で協議が始まっていたことが分かり、この問題の根深さが少しずつ明るみに出てきています。

私たちは東京地検が、このリニアの闇を徹底的に究明し、一点の曇りもない形で真相を白日のもとにさらけ出してくれることを強く求めます。そして、とくに不正行為が繰り返されてきたゼネコンに厳しい鉄槌を下し、二度とこのようなことが行われぬよう心から望みます。

ところで、こうした問題が起こった大きな理由は、言うまでもなく9兆円という事業費の巨大な利権にあります。しかも、この事業は、3兆円の財政投融資が追加的に活用されたために利権はあっという間に膨らんでいきました。

そして、同時にリニア新幹線は、単なる民間事業ではなくなり、公共事業としての性格もあわせ持つようになりました。このような状況を前提にする時、私たちは次の三者の責任を問わねばならないと考えます。

一つは、安易に3兆円の貸し付けを決めてあとは口を拭う国交省であり、また一つは、談合との決別宣言をしながらまたもや談合を繰り返すゼネコンであり、そしてもうひとつは公的資金を融通してもらいながらゼネコンに大盤振舞いをするJR東海です。

私たちはこれら三者の責任を黙過することはできません。

さて以上のような状況に鑑みれば、ここまで事件の重大性が明らかにされ、深刻化してきたわけですから、ともかくJR東海はリニアの工事をいったん中止すべきです。独禁法違反という犯罪性の強い工事を続行することは決して認められるものではありません。

さらにJR東海は、自身とゼネコン各社の罪状が確定した際には、ゼネコン各社との契約をすべて解除すべきです。事業が従来どおりの契約のまま行われることは、再び同じ事態を招く可能性を孕んでいます。したがって私たちは、JR東海に工事の中止とゼネコン各社との契約の解除を求めます。公的資金を導入して、交通、輸送という公共性の高い事業を行う企業の倫理に照らせば、それは当然のことではないでしょうか。

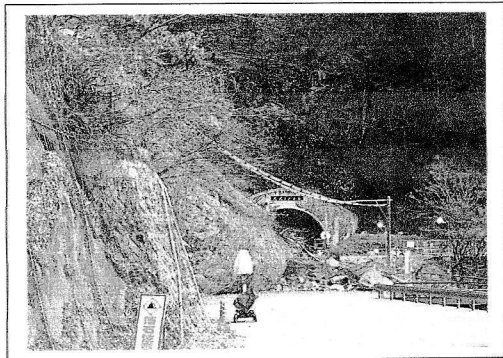
最後に繰り返しますが、東京地検による疑惑の全容説明を切に願います。はたして地検の捜査は政界にまで及ぶのか、国民は捜査の行方を注視しています。

2017年12月27日

リニア新幹線沿線住民ネットワーク
共同代表 天野捷一 片桐晴夫
川村晃生 原 重雄

リニアトンネル工事が原因で大鹿村への道路斜面が崩壊、復旧のめど立たず

12月15日午前3時25分頃JR東海が掘削している四徳渡トンネル(仮称)の滝沢トンネル側の口。土砂崩壊はその上部で発生し県道を塞いでいる。



現場は長野県上伊那郡中川村大草の県道松川インター大鹿線滝沢トンネル北西側で、崩れた斜面の15mほど下方でJR東海がリニア中央新幹線関連のトンネル工事を進めている。リニア関連トンネルは高さ約6m、幅9mで、県道の滝沢トンネル方向に掘り進めるために、15日午前1時40分ごろ、火薬を使った発破を実施、午前3時頃からコンクリート吹き付け作業をしていたところ、作業員が同25分頃、大きな音を聞き、外に出て土砂崩れの発見をしたという。

JR東海によると、土砂崩落後、一般の通行車が土砂に突っ込みバンパーがへこむ事故があったが、土砂崩落によるけが人はいないという。またJR東海は「現場の工事自体に問題はなかったが、リニアトンネルの今月中の貫通は厳しくなった。本体工事への影響はない」と説明している。

長野県飯田建設事務所は、四徳大橋(中川村)ー松除橋(下伊那郡大鹿村)間約3.4kmを全面通行止めにしており、現時点(12月15日現在)で復旧のめどは立っていない。(以上信濃毎日新聞)

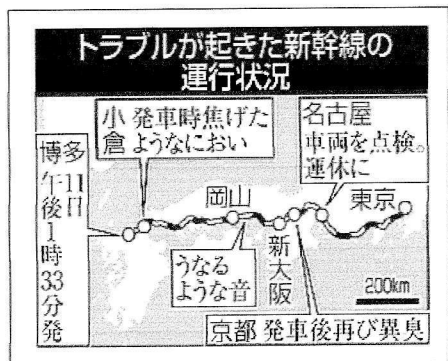
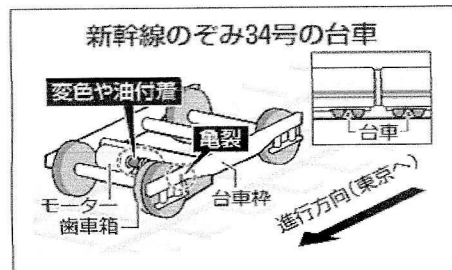
JR東海は大した事故でないから、リニアのトンネル工事は続けるという姿勢ですが、時間帯によれば重大な人身事故につながったし、また中川村や大鹿村へ通じる一本道が長期間通行止めになる事態だ。JR東海はあまりにも身勝手であり無責任である。そして、今後同様な事態が沿線全体のトンネル工事で発生する可能性が高い。直ちに県内のリニア関連のトンネル工事を中止すべきだ。

リニアも踏襲するという新幹線の安全神話に亀裂

N700系車台に破断寸前の裂け目、事故寸前だった

JR西日本は12月12日、東海道・山陽新幹線を走るN700系車両の車体を支える台車に亀裂が入っていたと発表した。

これに対し、報告を受けた国土交通省運輸安全委員会は事故につながるおそれがあったとして、重大インシデントに認定した。新幹線の重大インシデント認定は初めて。



JR西日本によると、亀裂は11日午後5時すぎ、名古屋駅で運転を中止した博多発東京行き「のぞみ34号」の13号車の車台で見つかった。博多駅を発車したあと広島駅や新大阪駅で異常な走行音や異臭がするなどの連絡があったが、運転指令室は途中駅での点検を指示せず、運転続行を指令していたため3時間余り走行を続けた。名古屋駅での点検で、鉄製台車枠の車軸を固定する部分に大きな亀裂があり、破断すれば脱線事故に繋がったと見られている。

また、JR西日本(山陽新幹線経営)とJR東海(東海道新幹線経営)

の乗務員の引き継ぎや、乗務員と運転指令室の事実確認のあいまいさも大事故につながる恐れがあったとの指摘がされている。JR東海は「リニアは一度も人身事故を起こさなかった東海道新幹線の安全技術を踏襲しているから危険はない」と説明し続けて来た。しかし、今回の事故もそうだが、阪神淡路大震災の際も始発前だったという「たまたまの幸運」に恵まれただけであった。新幹線の2倍の速度で走るリニアが安全であるという保証はなにもない。(イラストは東京新聞)

東京・神奈川連絡会 2017年下半期活動報告

7月 1日	第68回定例会(多摩市民館)	告集会
5日	川崎公害患者・家族の会と市との検 討会参加	(院内集会は参院議員会館講堂)
14日	新百合ヶ丘駅デッキで署名活動	20日 多摩市民館でリニア署名用紙印刷
18日	共産党市議団と市予算に向けての 懇談会	22日 訴訟弁護団会議 (八王子合同法律事務所)
24日	まちづくり局に3局と連絡会との 意見交換会開催要請	23日 半田 滋氏講演会署名 82筆(麻生市民館)
25日	千葉県鋸南町と君津市の採石場跡 地視察	26日 おしどりマコ&ケン講演会で署名 90筆(高津市民館)
	鋸南町の子どもと環境を守る会、 小櫃川の水を守る会と交流	28日 衆議院解散
28日	訴訟弁護団合宿(新横浜)	30日 ヘイトスピーチ繁体集会で署名7筆 (市労連会館)
30日	弁護団が大井川源流部視察	10月 5日 岩波ブックレット「リニア新幹線が不可 能な7つの理由」発売
8月 5日	第69回定例会(多摩市民館)	10月 7日 新百合ヶ丘駅デッキで署名、宣伝行動 ニュース8号、3年目原告・サポー ター会費納入要請、署名用紙発送作業 (多摩市民館)
8日	市まちづくり局・環境局・港湾局からの ヒアリング会 連絡会から10名 (明治生命ビル会議室)	第71回定例会(//)
18日	たかつキャンドルデモ(薬医門公園)	9日 川崎市長選挙告示
21日	訴訟弁護団会議 (八王子合同法律事務所)	10日 衆議院選挙公示
29日	市議会まちづくり委員会でリニア陳情6 6件審査	17日 訴訟弁護団会議 (八王子合同法律事務所)
	第16回訴訟事務局会議(静岡市)	22日 川崎市長選挙、福田氏再選 衆院選挙投開票、 野党分裂下で自公3分の2確保
30日	市議会まちづくり委員会で市とJR東海 残土埋立利用の覚書締結を公表「JR 東海が造成費用200億円」)	29日 第31回団結まつり豪雨下で実施 (亀戸中央公園)
9月 2日	登戸駅デッキで署名活動	30日 訴訟弁護団会議 (八王子合同法律事務所)
	第70回定例会(多摩市民館)	11月 4日 登戸駅デッキで署名活動 メール・電話原告・サポーターに 3年目会費納入要請、振替用紙な ど発送作業 (多摩市民館)
6日	川崎港船上見学会に17名参加。	第72回定例会(//)
7日	第6回口頭弁論資料印刷作業 (多摩市民館)	
8日	ストップ・リニア！訴訟第6回口頭弁論 (東京地裁)	
	裁判前集会、傍聴、記者会見、報	

- 6日 訴訟弁護団会議
(八王子合同法律事務所)
- 8日 第17回訴訟事務局会議(名古屋市)
角谷浩一氏講演会で署名活動
(高津市民館)
- 12日 伊藤真弁護士憲法講演会署名活動
(てくのかわさき)
第43回道路全国連大会でリニア報告
(市川市民会館)
- 15日 訴訟弁護団会議
(八王子合同法律事務所)
川崎大気汚染調査報告会
- 17日 「ハトは泣いている」上映会で署名活動
(多摩市民館)
- 20日 第7回口頭弁論、シンポ資料印刷
(多摩市民館)
- 11月23日 「原発の町を追われて」上映会で署名活
動 (エポックなかはら)
- 24日 ストップ・リニア！訴訟第7回口頭弁論
(東京地裁)裁判前集会、傍聴、記者会
見、報告集会

第2回シンポ「リニア新幹線 「隠された
真実」上岡直見氏、徳竹真人氏、山下 潤
弁護士

- (衆院第一議員会館大会議室)
- 12月 2日 川崎公害根絶市民連絡会総会
(市教育文化会館)
- 6日 訴訟弁護団会議
(八王子合同法律事務所)
- 8日 オールかわさき市民集会・デモ
(稲毛神社)
東京地検特捜部がリニア工事受注めぐり
偽計業務妨害容疑で大林組本社を家
宅搜索
- 9日 溝の口駅署名、宣伝活動
第73回定例会(多摩市民館)、
年末懇親会
- 10日 第19回東京科学者会議
(中大八王子キャンパス)
- 20日 訴訟弁護団会議(八王子合法事務所)
- 25日 リニア工事受注疑惑で街頭宣伝、署名
15:00～登戸駅デッキ

ストップ・リニア！訴訟第8回口頭弁論

伊藤清美さんが意見陳述！傍聴席を満員に
1月19日(金)午後1時15分 東京地裁前集合

第8回口頭弁論で伊藤清美さん(川崎市麻生
区在住、原告)が川崎市内非常口工事や工事車
両の走行による影響・被害のおそれについて意
見を述べる予定です。

市内では宮前区梶ヶ谷と麻生区東百合ヶ丘で
非常口工事の準備作業が始まり、東百合ヶ丘で
は建設発生土の搬出も行なわれています。

東百合ヶ丘非常口は大林組を中心とするJV
が工事を受注していますが、その大林組の強制
捜査から火が付いた談合事件が拡大しており、
「私が談合の調整を致しました」と、犯罪行為を
自白している企業に建設を続けさせる異常事態
を放置することは許されません。

19日は傍聴席を満員にして、伊藤さんの意見
陳述を見守り支援しましょう。



東京外環道大深度地下工事で住民が提訴

12月18日、東京外環道の大深度トンネル工
事に反対する住民が東京地裁に「東京外環
道大深度地下工事認可無効確認訴訟」を起
しました。大深度地下工事、次はリニアです。
この訴訟を応援し見守りましょう。

ここが問題！リニア新幹線NEWS NO. 01

発行：リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会
天野捷一(中原・高津) 090-3910-8173
山本太三雄(宮前) 090-8775-1879
矢沢美也(麻生・多摩) 090-6108-6568